

# 生成AI+デジタル拡張下の アクティブ・ラーニング型授業の あり方を探る

Active learning class under  
generative AI + digital expansion

オンラインでの事前学習  
+ 合宿研修

オンライン  
セミナー

オンデマ  
ンド講義

対面  
セミナー

2024.8.1(木)【オンラインセミナー(Zoom)】  
2024.8.19(月)～20(火)1泊2日【対面セミナー】  
開催場所：大学セミナーハウス(東京都八王子市下柚木1987-1)

デジタル技術の急速な進化は、教育のあり方にも革命をもたらし続けています。特に、ChatGPTをはじめとする生成系AIの登場は大学教育にも大きなインパクトを与えています。新型コロナウイルス禍でより活用されるようになったオンライン授業に加えて、生成系AIを活用することで、大学教育はさらなる変容を見せる可能性があります。

一方で、我々が日々向き合う「学生」も新型コロナ禍を経て、かつての学生から変容をみせています。学生は高等学校や予備校等でオンライン授業を当たり前のように受講しており、通学して対面授業を受けることの意義、特に「対面で一方向的な講義を受けることの意義」についてシビアな目を向けるようになってきました。対面授業の意義が問い直されるようになる中で、「なぜ今、対面授業をするのか?」、「授業でどのような活動を行うべきなのか?」という問いに私たちは答えを模索し続ける必要があります。その答えとなり得る1つの方法としてデジタルに拡張された新たなアクティブ・ラーニング型授業の展開があります。

第14回新任教員研修セミナーでは、「生成AIによって拓かれるデジタル拡張下のアクティブ・ラーニング」をテーマとし、これを体験的に学ぶことができるように、オンラインでの事前学習を経てから、1泊2日の合宿研修を行うという形式で実施します。オンラインと対面の良さを組み合わせ、参加者と講師陣が重ねる熱い対話の先に、まだ見ぬ未来の学びが姿を現わすことでしょう。

大学セミナーハウスでは、大学教員間の交流促進を通じて、日本の大学教育の質の向上と発展に貢献することを目指しています。今年度も、国公立大学の垣根を越えた新任教員研修セミナーを企画しました。皆さまの積極的な参加を心からお待ちしております。  
(運営委員長 菊地滋夫・運営委員 福山佑樹)

## 募集要項

【対象】 国公立大学で授業を担当する新任教員（年齢不問）、新任以外の教員、非常勤講師

【定員】 30名（宿泊はシングル使用）

【参加費】 大学セミナーハウス協力会員校教員 25,000円、一般校教員 35,000円、本務校を持たない非常勤講師 25,000円

※参加費には、宿泊費・食事費、消費税を含みます。

【募集締切】 2024年7月1日(月)

【申込方法】 右のQRコード

またはURL (<https://iush.jp/seminar/2024/03/579/>) より

大学セミナーハウス主催 第14回新任教員研修セミナー  
生成AIによって拓かれる  
デジタル拡張下のアクティブ・ラーニング



【講義1・セッション1】

大学生が通ってきた環境、出て行く社会

藤井恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）

いわゆる“Z世代”の最近の大学生が育った環境、受けてきた教育、入試制度を整理し、その特徴を確認する。一方で、やがて彼らが出て行くことになる社会、特に就職活動の状況をふまえ、大学生活を通して身につけるべき能力について議論したい。高校で始まっている「総合的な探究の時間」や、社会で求められる主体性、コミュニケーション力など、大学入学前と卒業後をふまえた大学のALの目指す学習スタイル、育成しようとする能力を参加者の皆さんと考えていきたい。

【講義2・セッション2】

反転授業のデザイン・生成AIと評価

澁川幸加（中央大学文学部特任助教、教育力研究開発機構研究員）

いつでも、どこでも、どんなことでも学びやすくなった現代では、集まる目的と学びの価値を明確にした大学教育が不可欠である。これからの大学授業のあり方を考える手がかりとして、本講義では反転授業及びフレンド型授業、そして生成AIの教育活用に焦点を当てる。授業内外を通じた授業デザインと、生成AIを考慮した評価方法について解説する。皆様には、授業でどのような価値を提供するかを再考するきっかけにしていきたい。

【講義3・セッション3】

アクティブ・ラーニングの理論と実際

福山佑樹（関西学院大学ライティングセンター教授）

アクティブ・ラーニング（AL）は高等教育において定着してきていたが、新型コロナ禍を経て一方向的な講義に逆戻りしてしまうケースも散見される。高等教育を一方向的な授業に逆戻りさせないためには、ALが求められるようになった背景など基本的な考え方を理解し、その必要性を再確認することが重要である。本講義ではALの理論と実践例を紹介し、ポストコロナ時代の授業に効果的にALを取り入れるためのヒントを提供する。

【講義4・セッション4】

生成AIの登場によって、学習デザインはどのように変わるのか？

田原真人（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーター）

教育は、一人ひとりの個人と社会とを結びつけるインターフェースの役割を持つ。個人を取り巻くメディア状況の変化、新しいテクノロジーの登場、社会状況の変化などにより、インターフェースの学習デザインは必然的に変化を求められる。生成AIの登場により、個人を取り巻く学習環境や、社会における産業構造などが激変する。そのとき、学習デザインはどのようになるのだろうか？先端事例をもとに議論する。

【講義5】

困難を抱える学生の理解のために

～大学におけるダイバーシティと発達障害のある学生支援～

村山光子（明星大学非常勤講師、明星中学校・高等学校事務長）

障害者差別解消法が改正され、2024年4月1日より、これまで努力義務とされてきた合理的配慮の提供が私立大学等において義務化されることとなり、「学生支援」は大きな転換期が訪れている。障害学生数は増加傾向にあり、2022年度には過去最高の49,672名、発達障害学生はこのうちの約20%、約1万人が大学等に在籍し、年々増加傾向にある。本講義では、発達障害を中心とする困難を抱えた学生支援について、大学におけるダイバーシティという視点から検討を行い、充実した大学生活を送るための支援について皆さんとともに考えたい。

【セッションA】アクティブ・ラーニングに向けた関係性作り

佐藤順子（SPAファシリテーター）

※動きやすい服装でご参加ください。（着物、スカート、ワンピース、サンダル、下駄、ハイヒールなどは避けてください）

【セッションB】

多様性と共生・協働のための探究型アクティブ・ラーニング

諏訪茂樹（東京女子医科大学統合教育学修センター准教授）

大学での新しい仲間との出会いは、大人として成長する貴重な機会となる。学生が成長するうえで特に大切なのは、自分と諸条件や考えの異なる他者との出会いである。ところが、学生はともすると似た者同士で集まり、閉じた狭い関係性に甘んじてしまう。本セッションでは、自分とは異なる他者とも相互理解を深め、単に共生するだけでなく協働することにより、課題を効果的に解決する探究型アクティブ・ラーニングの方法を紹介する。

オンラインセミナー

8月1日（木）13:00～15:00

趣旨説明

「生成AIによって拓かれる デジタル拡張下のアクティブ・ラーニング」

- 参加者と運営委員の顔合わせ
- ワールドカフェ
- その他（事務連絡など）

オンデマンド講義（講義1～5）

7月31日（水）配信開始予定

対面セミナーの前に視聴していただきます。講義1～4はセッション1～4と連動しています。

対面セミナー（大学セミナーハウス）

第1日目 8月19日（月）

12:45～13:30	受付
13:30～13:40	開会
13:40～15:10	【セッションA】
15:10～15:20	休憩
15:20～16:50	【セッション1】
16:50～17:10	事務連絡・宿泊室に入室
17:10～18:40	【セッション2】
19:00～	夕食・情報交換会

第2日目 8月20日（火）

7:30～9:00	朝食・宿泊室退室
9:00～10:30	【セッションB】
10:30～10:40	休憩
10:40～12:10	【セッション3】
12:10～13:00	昼食
13:00～14:30	【セッション4】
14:30～15:00	【ハーベスト（集合知の共有）】
15:00～15:30	閉会・記念撮影
15:30～	解散

\*チャットツール「Slack」で講師との質疑応答、受講者間の交流を計画しています。Slackにはあらかじめ参加者を招待します。

運営委員

委員長

菊地滋夫（明星大学人文学部教授）

委員

諏訪茂樹（東京女子医科大学統合教育学修センター准教授）

福山佑樹（関西学院大学ライティングセンター教授）

藤井恒人（東京農工大学グローバル教育院教授）

田原真人（IAF JAPAN 理事、参加型社会学会理事、デジタルファシリテーター）

問合せ先

公益財団法人大学セミナーハウス

セミナー事業部

TEL 042-676-8512(直) FAX 042-676-1220(代)

Email: seminar@seminarhouse.or.jp



大学セミナーハウス

INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE